

作業受委託料金設定の留意点

農業センター

1 取り上げた理由

米価の低下が続くという厳しい経営環境の中で、本県の稲作経営は一層の低コスト化を迫られている。水田作業を外部化し資本装備を軽減する等のコスト低減の方策も種々検討すべきであるが、まず農地を集積し規模拡大することが必要である。効率的な稲作経営を目指した各種の事業が県内各地で展開されており、その中でも農地流動化率が県内のトップクラスにある豊里町で行った調査から、農地集積に向けて地域の農業者間で作業受委託を進める際の留意点を明らかにしたので参考資料とする。

2 参考資料

- 1) 豊里町では作業受委託している農家は多いが(表1)、委託の理由に「基盤整備事業のため」という消極的なものが多く(表2)、1.5ha以下の小規模農家にこの傾向が強いことが特徴である(表3)。将来は委託を「継続」「増加」あるいは「農地売却」する農家が約半数を占めるが、逆に「自作する」という農業者が2割近く(表4)、その6割は50歳以下である。委託の主な問題点は「契約不履行」であり、委託に消極的な農業者はさらに「契約の煩雑さ」を強く感じている(表5)。
- 2) 作業受託農家は今後も受託を増やしたい意向が強いが(表6)、受委託双方とも作業料金の水準を問題点としてあげる農業者は少ない。作業受委託の実態料金は町標準や県平均と同程度であり、さらに委託者だけでなく受託者も実態より低い料金を希望しており(表7)、これは料金設定が難しくなっている現状を示唆している。
- 3) なお、豊里町の標準料金で発注側の経営試算を行うと、3ha未満の規模であれば水田は貸付、3～4.2ha位では作業委託、それ以上は自作するのが有利になるが、豊里町の農家の90%は経営耕地が3ha以下である。経営面積と米価や収量の水準によっては、作業の外部化を積極的に進めるべきであるが、料金水準に応じて作業委託か農地貸付かを選択する必要がある(図1)。
- 4) 標準料金で受注側の試算をすると農業所得700万円を得るには自作地5haなら15ha、自作地7haで9haの作業受託が必要である(図2)。基幹3作業料金を58,000円にすると、農業所得700万円を得るには自作地3haで17haの作業受託、同じく5haなら11ha、7haで7ha程度が必要である(図3)。

3 利活用の留意点

- 1) 県北東部水稲単作地帯である豊里町で平成10、11年度に実施したアンケートの結果に基づいている。
- 2) 「受委託の形態別の稲作経営試算支援システム」(普及に移す技術第74号)を使用した。機械装備、資材、耐用年数等の条件はシステム中の値による。また収量は540kg/10a、米価250円/kg、労働単価814円/時間とした。しかし、より効率的な低コスト化を行えば所得を上げることは可能である。
- 3) 豊里町の標準料金(平成11年)は合計が48,250円/10aで内訳は耕起8,400円、代掻き5,200円、田植え4,700円、刈取り16,000円、乾燥9,000円、籾摺り4,950円である。基幹3作業のみ使用した。

(問い合わせ先：農業センター営農機械部 022-383-8128)

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間 革新的営農システムの確立（平成8～12年度）

2) 参考データ

表1 作業の受注・発注の状況

	人数	%
委託	182	52%
受託	84	24%
貸付・全作業委託	10	3%
全水田貸付	15	4%
借り入れ	24	7%
全水田転作	15	4%

注：複数回答あり

表2 作業委託の理由(%)

労働力がない	30.8
基盤整備事業のため	30.3
機械等がない	29.8
頼んだ方が安い	6.3
頼んだ方が楽	2.9
受託したいと頼まれた	2.4
その他	2.9
無回答	12.0

注：複数回答

表3 面積別委託理由

	積極的委託		消極的委託	
	人数	割合	人数	割合
10～49a	11	10%	19	23%
50～99a	21	18%	19	23%
100～149a	30	26%	23	28%
150～199a	21	18%	14	17%
200～299a	20	17%	4	5%
300～399a	6	5%	1	1%
400～499a	0	0%	0	0%
500a以上	1	1%	2	2%

表4 作業委託に対する意向(%)

このまま継続	33.1
将来は自分でする	17.5
不明	13.5
将来は全面委託	10.4
さらに増加	6.0
将来は全部売却	2.0
その他	0.0
無回答	12.0

注：複数回答

表5 「基盤整備事業」により委託した人の問題点

	人数	割合
心配なし	19	42%
技術への不安	7	16%
委託契約が面倒	7	16%
水田条件の不安	6	13%
約束不履行の不安	3	7%
別人への委託	2	4%
作業料金設定	1	2%
違約補償の不安	0	0%
無回答	18	40%

表6 作業受託の対する意向(複数回答%)

さらに増加	26.6
増加したいが条件次第	26.6
増加したいが分散は困る	21.9
信頼できる制度・機関が必要	17.2
増加したいが相手次第	9.4
増加したいが手続きが面倒	7.8
小作を増加したい	6.3
集金の不安	4.7
料金設定が困難	3.1
したくないが断れない	3.1
その他	0.0
無回答	28.1

注：複数回答

表7 基幹作業の料金(円/10a)

作業内容	作業委託側		作業受託側		豊里町標準	県平均
	実態	希望	実態	希望		
一番耕起	4123	4482	4493	4461	4700	8362
二番耕起	3667	3618	3624	3545	3700	
代掻き	4447	4926	5090	5127	5200	5784
田植え	7188	4473	4611	4723	4700	5922
刈り取り	15660	12092	17229	12400	17500	17365
乾燥	9000	7146	9000	8505	9000	
籾摺り	4707	4032	4896	4797	4950	13455
合計	48792	40769	48943	43558	49750	50888

注1. 乾燥、籾摺りは10aあたり540kgとして計算

注2. 県平均は平成10年度

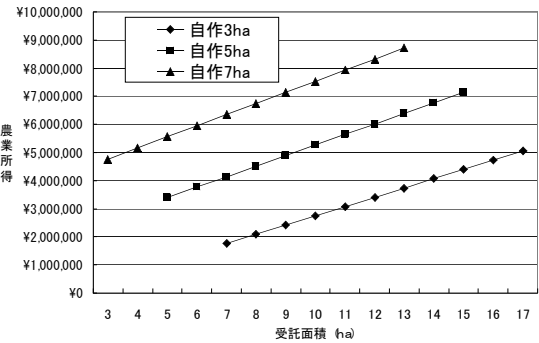


図2 受託による農業所得の試算(標準料金)

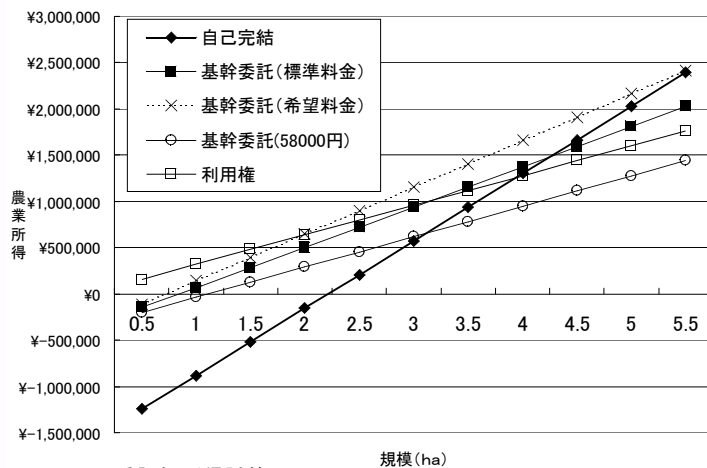


図1 委託側所得試算

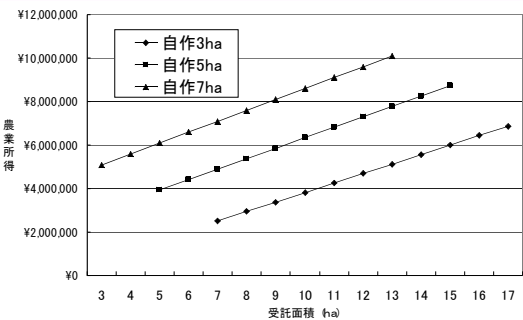


図3 受託による農業所得の試算(58000円)

3) 発表論文等